学校関係者評価結果
（2024年度）

（2025.5.31）

学校法人川原学園

東京動物専門学校

はじめに

専修学校の学校評価は、2007(平成19)年の学校教育法及び同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、及び②学校関係者評価の義務・結果の公表に関する努力義務が課されています。

東京動物専門学校は、2014(平成26)年3月に文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定を受け、毎年「学校関係者評価委員会」を開催し、その結果を本学ホームページなどに公表しております。

今後とも、学校関係者評価委員からのご意見、ご指導を頂きながら、その評価を具体的かつ明確な目標等を設定・実行し、次に、それらを自ら評価し、社会への責任説明を果たすと共に、専門学校教育の質の向上を目指します。
そこで、ここに2025年5月に開催された「学校関係者評価委員会」での評価結果を公表いたします。

学 校 関 係 者 評 価

（1）教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④ 3 2 1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
・教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 取り組み及び課題

東京動物専門学校の校訓は、1987 年の開校以来「心・知・技・体」であり、保護者アンケートの結果からも高い支持を得ており、継続する。動物飼育管理技術者の養成に特化した専門学校で、卒業生の就職先は動物園・水族館、観光牧場、畜産、愛玩動物等、動物関連で業種は幅広い。開校以来 36 年が経過している。新型コロナは 2023 年 5 月に 5 類に移行したが、定員割れの状況は続いている。このままでは、動物関連業界を見わたしたうえでの学校運営の立て直しが必須な課題となる。学校の創立理念や目的等、更には、動物飼育に関する基本姿勢は維持しつつ、高校生の選択先になるような改革や変化が必要である。

② 今後の改善方策

就職先が様々な業種であり、飼育対象とする動物、飼養目的等も多岐であるが、専門学校の特色である即戦力となる人材育成を目指すカリキュラムを実施する。動物園・水族館への関心はあるものの、最近の園館を全く見ていない学生も多くいる現状を踏まえ、就職への確かな動機付けのため入学早々の 1 年生を対象に、動物園・水族館を専門家と共に見学する特別授業も 10 年目を迎え、コロナ禍の 3 年間は、見学施設の変更を余儀なくされたが、現在は開始当初の都内 3 施設見学を継続実施している。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

18 歳人口の急減に伴い、大学側は総合選抜制度を大幅に採用している現近ですが、在校生はあえて本校を選択し入学しています。コロナを中・高校時代に経験しています。現在の Z 世代と呼ばれる若者は、将来の希望が少ない者が多いといわれるが、当校に入学してくる若者には希望をもっているはずです。是非その希望を叶えられ、社会人として活動できるよう指導をお願いしたい。

（２）学校運営

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 取り組み及び課題

学校の校訓・目的にそって毎年事業計画を策定し、年度毎の運営方針も明記し、教職員に周知徹底を計っている。また毎年 3 月には講師会を開催し、運営方針等を説明し、関係者一体となっての運営を図っている。情報公開は、学校基本情報、自己評価等も学校 HP で公開しており、適切である。また IT の進展に伴う、業務の簡素化・効率化はまだまだ改善の余地があり、今後の課題ではある。また、今年度作成した学校案内の冊子「夢を夢で終わらせたくない、キミへ。」は内容を一新させ、夢を実現できた卒業生を盛りだくさん紹介している。現代の若者に興味を持ってもらえる内容です。

② 今後の改善方策

情報公開に関しては、HP を活用して実施しているものの、迅速な更新に努める。学校案内冊子も作成しているが、ペーパーレス化社会に対応し、情報発信方法を検討する。また学生数の増加に対応した人材等は補強しているが、学生課職員についての業務分掌を整理し、効率化に努める一方、職員のレベルアップも図る。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

保護者へのアンケートで毎年「学校は保護者の要望に良く応えている」かの質問では、他の質問項目と比べてやや厳しい評価を受けており、今年度も同様な結果です。保護者の要望についての状況認識が必ずしも、十分ではないと思われるので、この要望について、具体的な内容の把握に努めてもらいたい。

（３）教育活動

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	(4) 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	(4) 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	(4) 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に	(4) 3 2 1
・飼育実習を指導できる職員は、配置されているか	(4) 3 2 1
・基礎学力習得への対策がなされているか	4 (3) 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 (2) 1

① 取り組みと課題

毎年学生及び保護者アンケートを実施しており、その結果を講師等にフィードバックし講義内容や授業の改善、更に、施設等に関する不満等の解消に努めている。特に近年基礎学力が不十分な学生も見受けられ、講師と教職員が一体となり対策をとっている。講師には問題のある学生の掘り起こしをお願いし、教職員が補講等の対策をとり、特に基礎学力習得及び学力向上に努めている。職員の能力開発は、副学校長による研修が行われた。

② 今後の改善方策

学習の基本となる基礎知識やノートの取り方などを授業にて実践しており、授業の理解度が向上したりと、その成果は徐々に出ている。今後は基礎学力の習得であるが、学習内容をどのレベルで実施するか､学力差の大きな専門学校ならでは課題でもあり､講師の方々とも打ち合わせ、実践する。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

分かりやすい授業や実習をお願いしたい。特に実習では、学生のアンケートに寄せられた意見等を反映して頂ければ幸いです。

（４）学修成果

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1
・当世の学生特性を捉えて指導をおこなっているか	4 ③ 2 1

① 取り組みと課題

今年度の就職率は 99%であり、動物園・水族館には 29 名(35.3%)が就職できた。今後とも動物園・水族館を希望する学生への指導を徹底する。2024 年度入学生の 1 年間の退学者は 4 名で、前年の 10 名と比し大幅に減少した。退学者ゼロを目指した学生の指導に努める。

② 今後の改善方策

就職率はほぼ 100%だが、少しでも希望の就職先に合格できるよう指導を徹底する。また動物園や水族館以外の動物関連施設の紹介を積極的に行い、就職誘導を図る。特に酪農・畜産は従来の経営方法とは格段と進化した施設もみられるので、そのような施設への実習研修先の候補の一つとしたらどうか。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

専門学校に入学してくる目的は、希望する職業への近道だと理解している。動物園・水族館業界の待遇について、厳しい施設が多いと聞いており、待遇条件等も学生に説明し、学生が理解したうえで就職すれば、離職も少しは避けられると思われる。より詳しく丁寧な就職活動への助言をお願いする。

（５）学生支援

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 (3) 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	(4) 3 2 1
・学生の生活環境への支援行われているか	(4) 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 (3) 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	(4) 3 2 1
・学校窓口や電話での対応は、適切に行われているか	4 (3) 2 1
・キャンパスハラスメントへの対応は行われているか	4 (3) 2 1

① 取り組みと課題

（　中学・高校時代にコロナを経験した学生が入学している、そのためか、積極的な活動や協調性などに従来では見られない特性が見られる場があり、侮れない課題と思われる。
　専門学校としては、まずは希望する職種への就職指導であり、入学と同時に開始し、全体指導、就職窓口での個別指導、施設研修と段階をおい、徹底的に学生の就職を支援する体制を組んでいる。）

② 今後の改善方策

（　入学してくる学生の特性を捉えながら、学生指導にあたる。特に学力向上が就職には欠かすことが出来ないので、基礎的な学習を習得したうえで、飼育専門教育につなげる。また高校校長を経験した職員が進路指導などにもあたる。）

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

（　各種アンケートによる意見・要望等について、迅速に対応できるよう願いたい。）

（6）教育環境

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・施設・設備やＩＴ教材は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4　(3)　2　1
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分教育体制を整備しているか	(4)　3　2　1
・危機管理マニュアルは整備されているか	4　(3)　2　1
・危機管理対応の備品などは整備されているか	4　(3)　2　1
・飼育実習に対応する動物として、種類・頭羽数は確保しているか	(4)　3　2　1

① 取り組みと課題

八千代キャンパスで２つの教室に大型モニターは設置完了したが、経年劣化による故障もあるので対応する。残るは冨里キャンパスの講義室です。また哺乳類から魚類まで動物園等で飼育されている大小様々な 215 種 1439 頭羽の動物を飼育し、実習に供している。実習体制について学生より多くの改善がアンケートでよせられている。また最新の飼育技術や知識を取り入れる。

② 今後の改善方策

設備のより一層の改善を図り、快適な講義が受講できるようにする。
飼育実習では、動物の種類、飼育数は問題ないが、実習体制の見直し、改善は必要である。
様々な飼育管理者の育成を目指す職業実践課程に相応しい内容とする。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

経年劣化による施設の改修について、適切な対応を願いたい。また実習場設備の改善や些細なことですが飼育用具の更新などをお願いする。

（７）学生の受入れ募集

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・学生募集活動及び入学選考は適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・インターネット上での学校案内のＨＰ更新は適宜行われているか	④ 3 2 1

① 取り組みと課題

HP(ホームページ)の学校案内が、多くの受験生の選択先決定時に大きな位置を占めていることが、全職員の共通認識となっており、そのためHPの充実を目的に数回の会議を開催した。更に、職員が高校に出向き学校説明会に参加したり、授業見学体験入学及び施設見学のオープンキャンパス等の充実を図っている。課題として、富里施設への公共アクセスが充分でないので、成田駅よりバスで送迎しているが、経費や時間などに、やや課題があることである。

② 今後の改善方策

富里実習施設見学にて充分な事前体験が施設的には可能だが、アクセスの改善が必要。コロナ収束以降も定員割れ状態にあるが、新コースの新設等で、やや、回復傾向にある、中期的には学生の受け入れ数確保の保証はない。「職業実践専門課程」認定の専門学校であるが、未認定校との差別化はほとんど困難である。しかし、現実には、卒業生が活躍しており、その実績により学校の伝統なるものができつつあり、今後更なる伝統を延ばす活躍を継続する。

また動物関連業種の中でもニーズが高い新たなコースの新設も検討する。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

入学者が全国から応募してくるような魅力ある専門学校となるよう希望します。
また時代に即した新たなコース設置も要望する。

（８）財務

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4　(3)　2　1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4　(3)　2　1
・財務について会計監査が適正に行われているか	(4)　3　2　1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4　(3)　2　1

① 取り組みと課題

（　このところ定員以下の入学者数で、基幹収入の主たる納付金である帰属収入に厳しさがある財務状況となっている。緊急的な設備改善等の投資は実施済で、当面は必要がない。会計等の処理については、会計士等の専門家による指導、監査にて適正に処理している。）

② 今後の改善方策

（　中長期では少子化により学生数確保は、ますます困難となる。入学者数確保に全力にて努める一方、経費の節約を徹底し、財務の安定を図る。
　動物関連業種の今後の動向を見定め、それにあった教育内容の変更を検討し、就職に有利となる新コースの設置も検討する。）

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

（　入学者の確保と安定的な財務運営を図りながらも、施設の充実を願いたい。）

（９）法令等の遵守

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 取り組みと課題

（ 2024 年度は教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を 5 月・12 月に開催し、活発な意見や積極的な改善指導を頂いた。 ）

② 今後の改善方策

（ 定期的に学生・保護者アンケート結果や、講師から年度末に提出される授業総括等を踏まえ、具体的に改善点・問題点を洗い出し、改善の方策を検討し実施する。 ）

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

（ 個人情報の保護対策はますます重要です。スマホやパソコンなどの取扱いについて、授業を通じて教育するとともに、日常的にもいろいろな機会を捉えて、指導してもらいたい。 ）

（１０）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4　(3)　2　1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4　3　(2)　1

① 取り組みと課題

（　コロナが一応収束し、９月に３日間、学校祭を八千代キャンパスでコロナ以前の体制で開催した。多くの地域住民の参加もありました。今後も継続的に実施運営する予定です。また地域ボランティア活動の情報を入手し、積極的に学生の参加を広げる予定です。）

② 今後の改善方策

（　学校祭は八千代の地域住民の方々も楽しめ、また卒業生や在校生の交流の場となるよう、次年度以降も実施する予定です。）

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

（　学校祭の開催は、在校生はもちろんのこと、卒業生にとっても母校を訪れる絶好の機会です。継続的な実施をお願いします。また 2023 年 12 月に冨里実習場で実施した、ホームカミングディは冨里にて開催し有意義なイベントです。定期的な開催を願いたい。）

（１１）感染症予防・健康管理対策

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・本校の特殊性を理解している学校医にいつも相談しているか	(4)　3　2　1
・学生や教職員の健康診断等管理は十分か	(4)　3　2　1
・学生への感染症予防(注射)対策や教育など十分か	(4)　3　2　1
・手洗い場には、せっけんやペーパーの設置など十分か	4　(3)　2　1

① 取り組みと課題

コロナの 5 類移行に伴い、直接的な行政指導や勧告はなくなったが、多数の学生の集まる学校の感染症対策は、重要なことに変わりはない。今後とも、学校医と相談しながら、破傷風の予防注射や健康管理学の授業などを通して、感染症予防の大切さを学生に指導する。

② 今後の改善方策

感染症予防対策の基本である、手洗い・うがい・消毒や清潔感の維持は、飼育の基本でもあり、その励行を日々の生活の中で実践できるように常に、指導する。当然のこと将来の就職先でも、実践できるようにする。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

今までのコロナ感染症対策について行政機関よりの協力要請に応じながら、対面授業の維持や入学式・卒業式また各種イベントの実施など、学校の積極的な対応に感謝します。コロナは収まりました。しかし油断はできません。今後とも、どうか宜しくお願いします。